

性素材が紹介された。

また、「食品の機能性について」をテーマに、田丸浩教授による司会進行で、食品資源工学研究室の森晴彦さん(博士前期課程学生)、海洋食糧化学研究室的牧野沙紀さん(同)、太陽化学(株)の小関誠氏、海洋生物化学専門の幹渉教授、栄養化学専門の梅川逸人教授が参

HUSA留学生のオリエンテーション(広島大)

広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)留学生37人(アジア・北米・ヨーロッパ・オセアニアの19カ国出身)が広島大に到着し、オリエンテーションを去る9月25日と同28日の2日間にわたり、広島大学生プラザで行った。

広島大の堀田泰司副理事(国際担当)、恒松直美准教授(国際センター国際教育部)、国際交流グループ職員が見守るなか、HUSA留学生は、新しく始まる広島大での生活・授業・寮生活・実践プロジェクト・日本の慣習や行動様式などに関する英語と日本語による説明に聞き入っていた。続いて、世界中から集った交換留学生が文

加し、パネルディスカッションが行われた。後半には、30のブースに分かれポスターセッションが行われた。綿密な情報交換によって、企業や自治体等が持つシーズとニーズへの理解が一層深まり、産学官連携の新しい展開が期待される。

化の壁を超えて交友を深めつつ学べるよう日本文化に関するグループワークが行われた。5、6人の多国籍のグループを構成し、地域社会における内と外や上下関係について話し合った後、各グループは模造紙にアイデアを描き、プレゼンテーションで考察結果を発表した。

2日目のオリエンテーション終了後には、ウェルカムパーティが開催され、留学生と在学生が親交を深めた。

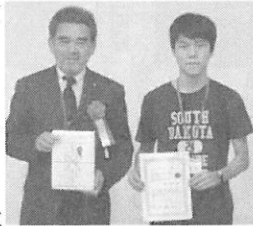


日本生物学五輪本選を開催(広島大)

広島大学は、生物学に関する全国規模のコンテストである「日本生物学オリンピックピック2015本選(広島大会)」をこの夏4日間にわたり開催した。

本選では、予選を突破した80人が国際生物学オリンピックを模した実験試験4題に取り組みとともに、広島大両生類研究施設などを見学。交流会には世界大会出場選手4人も加わり、参加者は世界大会の雰囲気に触れるとともに互いに懇親を深めた。

最終日の表彰式で成績上位者に金賞・銀賞・銅賞、予選・本選の総合成績上位5人や各試験の優秀解答者などへ特別賞が授与された。さらに、第1位に輝いた灘高校3年生の浜野彰太さんに越智光夫広島大学長が広島大学長賞を授与。また、浅島誠国際生物学オリンピ



浜野彰太(右)と越智光夫(左)が総合成績第1位を受賞した。



浅島委員長(前列左端)と国際生物学五輪日本代表候補者15人

ック日本委員会委員長が第27回国際生物学オリンピック派遣に向けた日本代表候補者15人を発表した。参加者から「貴重な体験と新たな発見に満ちた楽しい4日間を過ごすことができた」との声が聞かれた同大会。大会関係者は参加者が生物界の次代を担う人材として活躍することを期待している。